

平成 28 年度全国学力・学習状況調査(小学校)

国語 A

主として「知識」に関する問題

平均正答率

市 80.6%
国 [72.9%]
県 (78.4%)

区別定着状況

【話すこと・聞くこと】 81.4% [79.2%] (81.3%)
【書くこと】 73.3% [72.8%] (76.1%)
【読むこと】 81.4% [78.5%] (80.2%)
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 81.9% [71.1%] (78.1%)
※ [] 内は全国平均を, () 内は県平均を表します。

正答率の高い設問(上位3問)

- 漢字を読む(お年玉を貯金する)
(問1-2) 100.0% [98.5%] (98.8%)
- 公園案内図とパンフレットにある表とを関係付けて読み, 希望に合うものを選択する
(問5) 90.7% [93.1%] (93.6%)
- 漢字を書く(アサガオのたねをまく)
(問1-2) 88.4% [87.5%] (90.8%)

正答率の低い設問(下位3問)

- ローマ字を書く(あさって)
(問8-2) 66.7% [41.8%] (57.1%)
- ローマ字を読む(hyaku)
(問8-3) 71.3% [50.7%] (68.2%)
- 『おばあさんの飛行機』を読んで, 登場人物の人物像を説明するために, 根拠となる表現として適切なものを選択する
(問6) 72.1% [63.9%] (66.8%)

国語 B

主として「活用」に関する問題

平均正答率

市 62.0%
国 [57.8%]
県 (60.5%)

区別定着状況

【話すこと・聞くこと】 54.9% [51.1%] (53.9%)
【書くこと】 56.0% [53.4%] (56.7%)
【読むこと】 75.1% [69.3%] (71.7%)
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 設問なし
※ [] 内は全国平均を, () 内は県平均を表します。

正答率の高い設問(上位3問)

- 「パン職人」に関する複数の資料の内容を関係付けてまとめたものとして適切なものを選択する
(問3-2) 87.4% [77.9%] (79.7%)
- 「パン職人」に関する本を選んだ目的の説明として適切なものを選択する
(問3-1) 80.3% [77.2%] (79.1%)
- 「早ね早起き」活動の課題に対する解決方法について, (表2)の結果を基に書く
(問2-2) 64.6% [64.2%] (68.4%)

正答率の低い設問(下位3問)

- 「早ね早起き」活動の成果について, (図1)の結果を基に書いた内容として適切なものを選択する
(問2-1) 44.9% [43.4%] (46.1%)
- スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを基にして, 話の展開に沿った質問を書く
(問1-3) 48.8% [50.4%] (55.4%)
- スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを作成した際の工夫した点として当てはまらないものを選択する
(問1-1) 55.9% [51.8%] (52.1%)

結果から考える

○考察

国語A, 国語Bともに全国平均を上回っており, これらの学習内容はおおむね定着していると考えられます。

○今後の指導について

今後, 国語Aに関しては, ローマ字の規則性を理解させ, 身に付けることができるように指導するとともに, 他教科等でコンピュータを使った学習を行うなどして, 繰り返し読んだり書いたりする機会を増やす必要があります。

また, 国語Bに関しては, 複数の図表やグラフを比較したり関係付けたりすることを通して, 分析したり引用したりして, 考えを具体的に記述させるなどの指導を充実させる必要があります。